

人種という枠

中 三

二〇二一年アメリカ、サンフランシスコで街灯にもたれかかっていた女性が白人男性に突然、顔を殴打された。ロックダウン翌日、フランスで「感染の責任を取れ。」と叫ぶ男に男性が暴行されけがを負った。

この事件で共通していることは被害者がどちらでもアジア系だったということだ。被害者たちは加害者に何もしていない。ただアジア系だというだけで襲われた。二〇二〇年、新型コロナウイルス感染症がまん延し始めてからこうしたヘイトクライムは急増しているという。言葉による暴力から身体的な暴力まである。SNSには「コロナを持ってくるな。」「外国人は出て行け。」などの差別的な発言があった。つまり「コロナはアジアの国から出たのだからアジア人はその連帯責任を取れ。」ということなのだ。しかし、私はこの連帯責任という言葉に疑問をもつ。なぜなら、連帯責任とは失敗した人もしていない人も何も知らない

人も全て失敗という一つの大きな枠にはめられてしまうからだ。しかし大勢の人がみな同じ考え、行動をすることはない。アジア系だからといってコロナウイルスを持っているわけではないし、広めようとも思っていない。同じように早く収束してほしい、終わってほしいと思っているし、それぞれ様々な考えの人たちがいることを理解すればこうしたヘイトクライムはなくなるのではないだろうか。

また、「〇〇人はこうだ。」という決めつけも差別を助長すると思う。アメリカ同時多発テロ事件の直後、アラブ系やイスラム教徒へのヘイトクライムが起きた。そしてアラブ系・イスラム教徒イコールテロリストという偏見が生まれ、差別を助長するものとなってしまった。相手をこうだと決めつけて接すると、相手の内面が見えなくなってしまうと思う。また決めつけられた相手も嫌な気分になる。

以前、私が授業でノートをとっていたときのことだ。私はきれいにノートをとりたかったため、ゆっくりと時間をかけて書いていた。それについて、

「もつと早く書けないのか、これだからA型は。」
と言われた。私は理解ができなかった。私がA型であることとノートをきれいにやりたいと考えたことは確かに事実だ。しかしA型イコールノートをきれいにやりたい（几帳面）ということではないと思う。几帳面なのは人それぞれだし、A型だってB型だって様々な性格の人がいる。A型は几帳面だと言われているからA型の人はみんな几帳面、などということはない。

これは他のことでも同じだ。例えば日本人は目立つのを嫌がる、あまり感情を表に出さない、おとなしいと思われているが、日本人全員がそのような性格というわけではない。私だって目立ちたいし、怒りをあらわにすることだってある。しかし、日本人である私が外国に行ったとしたら、現地の人々からは目立つのを嫌がる日本人、あまり感情を表に出さない日本人、おとなしい日本人と見られることがある。この「おとなしい」の部分が「危険」とか「犯罪者」などになると前述のようないトククライムが起きる。

○人、という一つの大きな枠だけで、一人の人間をとらえてはいけないと思う。なぜなら人は

一人一人違うからだ。憎悪を同じ枠の中にいる人に向けてはならない。一人一人、様々な性格、考え方、感じ方をもっている。枠の中の人たちはみなそれぞれ違う。そのようなことを考えながらお互いを尊重し合える世界が創れたらいいと思う。